



たんぽぽだより



令和6年2月号 No.103
砂川市病児・病後児保育施設
Tel 0125-54-2278

寒さが一段と厳しくなり空気が乾燥していますね。かぜなどのウイルスは寒さと空気の乾燥で活発化し、感染しやすくなります。かぜやインフルエンザ、アデノウイルス感染症、溶連菌感染症などに十分気をつけていきましょう。バランスの良い食事と十分な睡眠を心掛け、元気に過ごしたいですね。

先月は、急性上気道炎・中耳炎などでの利用がありました。



アデノウイルス感染症(咽頭結膜熱)に気をつけましょう。

アデノウイルス感染症ってどんな病気

アデノウイルス感染症はいわゆる「かぜ」の一種で、アデノウイルスというウイルスに感染することで発症する病気です。

プール熱はアデノウイルス感染症の一種で、プールの水を介して感染するほど感染力が強いので特に注意したい感染症の1つです。

アデノウイルス感染症の原因

アデノウイルス感染症の原因は、アデノウイルスへの感染です。アデノウイルスは51種類の型があり、一度感染しても免疫ができにくく繰り返しかかることもあります。

感染力が非常に強く、プールの水を介する他、せきやくしゃみなどで出た唾液に含まれるウイルスが原因の「飛沫感染」や、唾液や涙のついたものなどを触って感染する「接触感染」などが感染経路です。他にも、感染した子どもの排泄したうんちに潜むウイルスが原因となる「糞口感染」などがあります。

アデノウイルスの症状

発熱 のど痛み
咳 下痢
嘔吐 目やに
目の充血 出血性膀胱炎
などの症状が見られます。



予防のポイント

手洗いとうがいをしっかりと！感染予防は手洗いとうがい基本です。石鹸を使って手のしわや指の間、爪の間までしっかりと洗うようにしましょう。

集団生活ではタオルの共有は避けましょう。タオルを共有すると、唾液や鼻水、涙などに含まれたウイルスが付着して感染を拡げてしまう恐れがあります。室内も忘れずに消毒しましょう。手で口元や目を触ったり、くしゃみをした際にウイルスが付着して残ることもありますので、こまめに消毒をするようにしましょう。